

# 教育委員会点検・評価報告書

(平成25年度評価)

平成26年8月

恵那市教育委員会

## 目 次

### 第1章 点検・評価制度の概要

- 1 点検・評価の目的 .....1
- 2 点検・評価の対象 .....1
- 3 点検・評価の方法 .....2

### 第2章 教育委員会の活動状況についての点検・評価 .....3

- 教育行政評価委員会からの意見 .....5

### 第3章 教育委員会の行う事務事業の執行状況についての点検・評価 .....7

- 教育行政評価委員会からの意見 .....17

#### (参考資料)

- ・ 恵那市教育委員会点検評価実施要領 .....21
- ・ 恵那市教育委員会組織図 .....24
- ・ 平成25年度恵那市教育委員会提出議案等 .....25

## 第1章 点検・評価制度の概要

### 1. 点検・評価の目的

恵那市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会の主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るものです。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進いたします。

#### 【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規程により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規程により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2. 点検・評価の対象

教育委員会は、「恵那市教育委員会点検評価実施要領」（平成21年4月1日決裁）に基づき、平成25年度の教育委員会の事務事業等について、次の内容の点検・評価を実施しました。

- (1) 教育委員会の活動状況に関する事項
  - ア 教育委員会の会議の実施状況
  - イ 教育委員会の調査活動の状況
- (2) 事務事業の執行状況に関する事項
  - ア 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行状況
  - イ 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行による成果
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

### 3. 点検・評価の方法

点検及び評価にあたっては、次の評定基準により、達成度についてその評価を行っております。

評定区分	評 定
A	目標を大きく上回る実績
B	目標をやや上回る実績
C	目標どおりの実績
D	目標をやや下回る実績
E	目標を大きく下回る実績

なお、地教行法第27条第2項に規定されている「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、「恵那市教育委員会点検評価実施要領」に基づき、評価委員会を設置し、評定結果に対する意見の聴取を行いました。

#### <恵那市教育行政評価委員>

(敬称略／氏名五十音順)

役職名	氏 名	公 職 等
委員	安藤 憲男	恵那市PTA連合会相談役
職務代理者	黄地 尚幸	恵那市まちづくり市民協会
委員	中嶋 恵子	保護司
委員長	林 達夫	元東海学院大学短期大学部 非常勤講師
委員	山田 恵市	恵那市小中学校校長会会長

第2章 教育委員会会議等の点検及び評価

	実 績	成 果・課 題
教育委員会会議の 実施状況	<p>開催回数</p> <p>定例会議 12回 (12回)</p> <p>臨時会議 3回 (3回)</p> <p>審議件数</p> <p>議案 57件 (18件)</p> <p>うち可決したもの 57件 (18件)</p> <p>協議事項 5件 (4件)</p> <p>報告事項 103件 (93件)</p> <p>その他教育長報告 12件 (12件)</p> <p>※ ( ) 内は前年度実績</p> <p>※議案案件の詳細については別紙 に掲載</p>	<p>【成果】</p> <p>月1回の教育委員会定例会を開催し、議案審議及び協議、報告を行い、委員による意見交換が行われた。その中で、主要事業については年度当初に主管課の課長から課題や実施方策について説明を受け、毎月進捗状況を確認した。教育委員の意見は会議録の配布等により各課長に伝え、事業に反映させるようにした。</p> <p>会議録はホームページに公開した。</p> <p>「教育委員会だより」を発行し、ホームページや市内公共施設の窓口 に配付して、市民に教育委員会の内容や教育委員の考えを伝えることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>「教育委員会だより」をより多くの市民に読んでいただけるような工夫が必要である。</p> <p>【評価】</p> <p>C</p>
調査活動等の状況	<p>市外視察</p> <p>平成26年1月23日(木) ～24日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・射水市教育委員会(学校統合)</li> <li>・高岡市伝建地区</li> <li>・美濃市教育委員会(学校統合)</li> </ul> <p>市内視察等</p> <p>平成25年5.6.7.9.10.11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問 23校</li> </ul> <p>平成25年5.6.9.10月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会、体育祭</li> </ul> <p>平成25年6月22日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「少年の主張」大会</li> </ul>	<p>【成果】</p> <p>市外視察については、小・中学校の統廃合をされた射水市、美濃市へ学校統合までの経緯、決定した要因、問題点など、恵那市の学校再編に参考になる話を聞くことができた。</p> <p>学校訪問では、学校の状況や実際の授業の様子を視察するとともに、教職員との意見交換などを行い、学校の現状の把握や指導に努めることができた。</p>

	<p>平成 25 年 6 月 29 日 (土)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵那市中学校総合体育大会</li> </ul> <p>平成 25 年 8 月 18 日 (日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「三学のまち恵那」生涯学習フォーラム 2013</li> </ul> <p>平成 25 年 10.11 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定校研究発表 4 校</li> </ul> <p>平成 26 年 1.2 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校と市教委懇談会 19 回</li> </ul> <p>平成 26 年 1.2 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間まとめの会 4 校</li> </ul> <p>平成 26 年 3 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校卒業式 8 校</li> </ul> <p>岐阜県市町村教委連研究総会 平成 25 年 11 月 21 日 (木) 瑞浪市</p>	<p><b>【課題】</b></p> <p>今後も継続的に現場視察を行い、事業の実施時及び施策立案時に活用を図るよう努めることが必要である。</p> <p><b>【評価】</b></p> <p>C</p>
<p>その他の事項</p>	<p>恵那市議会総務文教委員との懇談会 平成 25 年 6 月 28 日 (金)</p> <p>市長との懇談会 平成 26 年 3 月 28 日 (金)</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>市議会議員との懇談会では、学力向上、土曜日授業の実施、学校いじめ問題、不登校の状況と先生の休職状況について活発な意見交換をすることができた。</p> <p>市長との懇談会では、生涯学習都市宣言から 3 年、平成 26 年度からは社会教育課・文化課・スポーツ課が市長部局に移管され、生涯学習によるまちづくりが全市的に推進される体制がとられ、恵那市の目指すまちづくりの姿について市長の考えを聞き、教育委員の思いを市長に直接伝えるよい機会となった。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>懇談会の継続的な開催。</p> <p>市長との懇談会は回数を増やして、意見交換し課題について議論を深める。</p> <p><b>【評価】</b></p> <p>C</p>

## 【教育行政評価委員会からの意見】

### 1. 教育委員会の活動状況について

#### 【総評】

教育委員会の活動は、市内の文化、スポーツ活動を活発にさせ、古き良き文化伝統を継承発展させる上で中核となる部署である。その具現のために昨年度の活動についてもこれらの状況を実際目で観察して、より多くの層の方々から交流を図るなど教育文化の実情を理解されようとする姿勢がみられることは、恵那市教育委員会活動の良さとして継続してほしい。

学校教育としては、中学校の統合、給食（アレルギー対策）など大きな課題をひかえている中、子どもにとってプラスとなる方向で協議を重ね、じっくりとしかも迅速に計画的に進めてほしい。明智小学校、吉田小学校の統合では、学校関係者の努力、地域、保護者の協力のもと現在、順調に進んでいると聞いている。中学校統合の解決に活かしてほしい。

来年度からの教育委員会制度の改革については、市長の主張の実現を目指して、教育委員会と緊密な連携を図ってきているので心配はしていないが、今まで以上に「子ども」という観点から教育委員会の思いを主張し、連携を図ってほしい。また、社会教育、スポーツ、文化についても市長部局に移っても教育委員会の立場から積極的に関与し、恵那市の教育、文化、スポーツのレベルアップを図ってほしい。

#### (1) 教育委員会会議の実施状況

- ・教育委員会会議が定期的で開催され、昨年より多くの議案を審議し、意見交換がしっかり行われており、教育の発展に寄与されている。
- ・前年度に比べて議案が激増しているが、増加原因、内容について顕著なものがあったのかどうか記述しておくとうい。（その年の特徴が明確になるのではないか）
- ・教育委員会だより、会議録の開示については、開かれた教育委員会の姿勢を示しており、今後も積極的に進めてほしい。
- ・「教育委員会だより」は、教育委員会の活動が市民に浸透するような工夫が必要である。ホームページに掲載されているが、高齢者にも伝わる方法を検討すると良い。
- ・「教育委員会だより」は、市民へのサービスと捉えるとともに、教育委員会をアピールする場としてよりよいものにしてほしい。その内容については、教育委員の方にも事前に読んでもらうなどより多くの目を通して発行してほしい。また、ワンパターンになりやすいので、市民のアイディアを求めるようなコーナーなどこれからも工夫して読み応えのあるものにしていただきたい。

## (2) 調査活動等の状況

- ・市外研修について、学校統合を視察され、恵那市も恵那南地区の中学校統合を検討されているので、参考にして保護者、地域住民の納得するような進め方をしてほしい。
- ・学校訪問については、各学校のいいところが沢山あると思うのでホームページ等で公開する。
- ・現地視察をして、教育行政に反映するように努めていただきたい。
- ・毎年、恵那市教育委員会の課題の発見、解決の機会を捉えて、調査活動を継続されておられることについては、今後も積極的に行ってほしい。
- ・学校教育の授業の観点から全国大会が今年度は体育科、2年後には数学科が岐阜県で開催される。こういう場へも積極的に先生にも参加できる機会を与えてほしい。また、教育委員も参加されることで恵那市の学校教育の参考になるので出席されると良い。
- ・学校再編については、吉田小学校と明智小学校の統合がスムーズに進められたと聞いており、調査活動が活かされたと思う。(それをアピールしてほしい) 今後恵那南地区の中学校の統合が検討されており、スムーズに進められるようお願いしたい。
- ・市議会議員は教育行政についてどう評価しているのか。どんな点を改善してほしいと願っているのか。少しでも記述があるとよくわかる。
- ・教育委員会のあり方が変更されてくるが、恵那市については、市長と緊密に教育行政が行われているが、より緊密に進め、学校現場に混乱が起きないように着実に改革をしてほしい。

<b>基本目標（政策）</b>	<b>思いやりと文化を育む人づくりのまち</b>
-----------------	--------------------------

1. 学校教育の充実		
地域・家庭との連携のもと、多様な学びが可能な教育内容や教育環境の充実、また交流活動を促進するとともに、安心・安全、快適な学校環境を整え、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を実践し、次代を担う子どもたちを育成する。		
サブ施策名	より質の高い教育の推進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育推進</li> <li>・学校教育情報化推進事業</li> <li>・学校図書館読書活動推進事業</li> <li>・教員研修事業</li> <li>・国際理解（ALT）教育推進事業</li> <li>・小中学校の適正配置検討事業</li> <li>・少人数指導教育推進事業</li> <li>・特色ある学校づくり事業</li> <li>・奨学資金貸与事業</li> </ul>	C
取組と成果	<p>キャリア教育の推進では、市内8中学校において10月から11月にかけての3日間、市内各事業所において中学校2年生が職場体験学習を行った。事前のマナー講座や事後の指導において自分の生き方を考える貴重な学習の場となった。</p> <p>学校教育情報化推進事業では、導入した「みんなの学習クラブ」「おうちでマルチメ」などの効果的な活用を促すために教務主任会で活用方法について検討し、有効活用の機運が高まった。また、平成26年度から2年間並びに3年間のICT教育推進校に岩邑中学校と中野方小学校を課題委託した。</p> <p>学校図書館読書活動推進事業では、巡回図書館司書を3名配置し、学校図書館の整備と活用について充実を図ったことで、児童生徒の読書冊数の増加と授業での活動機会が増加した。また、東濃地区学校図書館教育賞において恵那北小学校が優秀賞2部門を獲得した。</p> <p>教員研修事業では、職務に応じた研修、経験年数に応じた研修、教育課題研修等の実施をし、教職員の指導力及び資質の向上を図るよう意図した。夏休みを利用したパワーアップセミナーでは、満足度が92%、自主参加の知新セミナーでは、各教科や道徳等、5回実施した。参加のべ人数は154人であり、今後の指導に生かしたいという多くの声があった。</p> <p>国際理解（ALT）教育推進事業では、6人のALTを市内の各小中学校に派遣した。小学校では、外国語活動のすべての時間に、中学校では、英語の時間の約50%に参加して授業を行った。1人のALTは幼稚園・保育園に行き、園児と自然なふれあいの中で異文化体験をすることができた。</p> <p>小中学校の適正配置事業では、吉田小学校と明智小学校との統合に向け、統合実行委員会を設置し、学校や地域住民の声を聞きながら円滑に進めることができた。また、恵那南地区中学校の再編について、各地区の地域協議会並びに各学校PTA役員会に市教委の考えを説明し理解を得るようにした。また、平成26年度に向けて恵那南地区中学校あり方検討委員会設置のための準備会を行うことができた。</p> <p>少人数指導教育推進事業では、児童生徒をサポートする学習支援員を26名確保するとともに、年間2回の研修会を実施し、きめ細かくより効果的な支援ができるようにした。その結果、落ち着いて学習できたり、より理解が進んだという児童生徒の声があった。</p> <p>特色ある学校づくり事業では、市内全学校において学校独自の工夫する活動を実施した。その結果、地域に学校の特色を発信したり、地域の信頼を高めたり、児童生徒の地域や自校への愛着心を高めたりすることができた。</p>	

サブ施策名	学校間・学校と地域の交流促進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとふれあい交流（市内学校地域交流）事業</li> <li>・小中学校野外活動推進事業</li> <li>・食育の推進</li> </ul>	
取組と成果	<p>小中学校野外活動推進事業では、市内20校において実施しており、学校の日常生活ではできない体験をすることにより、仲間や自分のよさや可能性を発見することができた。</p> <p>食育の推進では、各学校において食育推進年間計画に基づいて、栄養職員などのサポートも加え着実に実施した。</p>	C
サブ施策名	相談しやすい環境づくり（心のケア）	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育体制推進事業</li> <li>・発達相談事業</li> <li>・不登校等対策事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>特別支援教育体制推進事業では、小学校や幼稚園・保育園への巡回相談を実施し、早い段階から園児や児童の実態を把握し、個に応じた支援体制の整備や就学支援に生かすことができた。</p> <p>不登校等対策事業では、配置した「心の相談員」や「学習支援員」の教育支援によって、不登校児童生徒の割合は小中学校とも減少した。</p>	C
サブ施策名	学校施設等の整備	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東野小学校校舎大規模改造事業</li> <li>・中野方小学校プール改築事業</li> <li>・武並小学校プール改築事業</li> <li>・小中学校給食用昇降機改修事業</li> <li>・小学校危険遊具改修事業</li> <li>・小中学校施設防災機能確保事業</li> <li>・学校安全対策事業</li> <li>・恵那市学校給食センター維持運営費</li> </ul>	
取組と成果	<p>学校施設整備では主に、東野小学校校舎大規模改造事業、中野方小学校水泳プール改築事業及び3校の屋内運動場防災機能強化事業を行なった。</p> <p>校舎大規模改修では、老朽化した施設の改修で教育環境の改善及び建物の耐久性が図られ併せて太陽光発電設備を設置し環境教育の向上を図った。</p> <p>プール改築では、老朽化したプールを改築し、安全・安心で快適な教育環境の整備が図られた。また、プールの水を浄化し非常時の生活用水として活用できる浄水器を設置し避難所機能の向上を図ることができた。</p> <p>防災機能強化では、災害時に天井、壁の落下が予測される屋内運動場3箇所（岩邑小、大井第二小、山岡中）の耐震化事業を実施することにより震災時でも安全が確保できる施設となった。</p>	C
未達成の課題と今後の取組	<p>恵那市においては、少子化により複式の学級や10人満たない学年が多くある。子どもたちがよりよく教え合い学び会えるための適正な規模の学校再編を討議する場を設定する。特色ある学校づくり推進のため、学校の創意工夫を生かした教育活動を推進する。いじめや不登校の未然防止を図るため、ハイパーQUテストを導入し、いじめや不登校が減少するよう取り組む。</p> <p>また、学力アップを図るために性格と学力の相関関係分析と適正な学習方法を知るためのCRT検査を全学校に導入したり、ICTを活用した授業改善を行うことにより学力アップを図る。</p> <p>学校施設の整備では、武並小学校プール改築事業を実施する。</p>	

2. 生涯学習の推進		
<p>市民の誰もが生涯を通じて、それぞれの意欲や興味に応じた自発的・自主的な学習活動を実践し、その成果が自分とともに社会に生かせ、市民一人一人の生きがいにつながるよう、「恵那市三学のまち推進計画」に基づき、学習機会の拡充や体制整備、施設や図書館機能の充実を図る。</p> <p>また、郷土の先人佐藤一斎の社会に役立つ有為な人になろうと生涯学び続ける「三学の精神」を理念に、読書に親しみ、学びを広げ、学んだことを地域社会に生かす市民三学運動を市民とともに進める。</p>		
サブ施策名	生涯学習機会の拡充	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習市民三学運動啓発事業</li> <li>・成人教育（高齢者学級）の推進</li> <li>・地域づくり（住民企画参加型公民館活動）</li> <li>・中央コミュニティセンター運営事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>恵那市三学のまち推進計画に基づき、「子どもから高齢者までみんな学んで幸せになろう」を合言葉に、生涯学習、成人教育、人権教育、家庭教育等の推進を図った。</p> <p>「三学のまち恵那」生涯学習フォーラム2013を開催し、市内の地域、学校で行われている「求めて学ぶ」「学んで生かす」活動事例のうち3地区と1中学校の事例発表と「三学のまちづくりをさらに発展させていくためのパネルディスカッションを行い、453名の参加者を得た。その後フォーラムに参加した笠置町と山岡町との間で柚寒天ジュレが開発された。また、中学生が岩村町を紹介するDVD発表から恵那市の中学生が紹介する「わがまち自慢・えな」DVD作成（平成26年度事業）が生まれてきた。</p> <p>今年度から恵那市民大学「恵那三学塾」を開講し、今まで行われていた市民講座、出前講座、市民三学地域塾、自主企画講座と、新たに創設した大学連携講座、政策コース、産業経済コース、協力連携講座を創設し体系化した。市民講座は336講座（一般262講座、子ども74講座）開設、4,677人（5%減）の参加。出前講座では219講座開設、19,341名（前年比2%増）の参加。13地区で市民三学地域塾が開催され、2,063名（前年比48%減）の参加。自主企画講座は5講座開設、113名（前年申込なし）の参加があった。</p> <p>新たに開設した大学連携講座では3講座開設、90名の参加。政策コースでは前期後期の2講座開設、39名参加。産業経済コースでは前期後期の2講座開設、104名の参加。</p> <p>その他、各コミュニティセンターで文化まつり、子どもフェスティバル、地域づくり事業などを行ない、学習や体験の機会を用意した。</p> <p>生涯学習の主たる活動場所はコミュニティセンターである。そのコミュニティセンター施設利用で見ると利用団体13,943件（前年比18%増）延べ利用者数232,587人（前年比24%増）となり、多くの市民が生涯学習に取り組んだ。</p> <p>出前講座では、学ぶ機会の提供にとどまらず、市民講師の側からみると自身の知識技能を生かし、生きがいづくりに繋げ、「学んで生かす」を実行することになった。</p>	C

サブ施策名	生涯学習体制の充実	評価
<p>主要事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三学のまち推進事業</li> <li>・成人教育（高齢者学級）の推進</li> <li>・地域づくり（住民企画参加型公民館活動）の推進</li> <li>・中央コミュニティセンター運営事業</li> </ul>	
<p>取組と成果</p>	<p>市民三学運動推進委員会、生涯学習まちづくりセンターにより、恵那市の生涯学習のまちづくり、市民三学運動を推進する恵那市三学のまち推進計画に基づく施策を展開した。</p> <p>恵那市民大学「恵那三学塾」が開講され、課題であった市民三学運動の三つの柱のひとつ「学んで生かす」ことを一層推進する講座を開設するなど、「三学のまち」づくりの推進態勢が充実してきた。</p> <p>市民三学地域塾の活動が地域協議会、まちづくり実行組織、青少年育成町民会議等、町内の組織との連携により、「求めて学ぶ」「学んで生かす」生涯学習へと充実されてきている。</p>	C
サブ施策名	生涯学習施設の整備	評価
<p>主要事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー推進事業（エレベーター設置事業）</li> <li>・地区コミュニティセンター改修事業</li> </ul>	
<p>取組と成果</p>	<p>公共施設のバリアフリー化を推進するため、飯地コミュニティセンターにエレベーターを設置した。併せてトイレの改修、玄関の自動ドア・スロープ設置工事を行い、車いすでの来館に対応ができるようになった。</p> <p>また、空調設備の改修工事を行い、全館統一した形態にして効率化を図った。</p>	C
サブ施策名	読書推進と図書館機能の充実	評価
<p>主要事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート事業</li> <li>・恵那市中央図書館読書活動推進事業</li> </ul>	
<p>取組と成果</p>	<p>第一次子どもの読書活動推進計画を検証し、第二次子どもの読書活動推進計画を策定した。3歳児保護者に読書アンケートを行ったところ、ブックスタートが読み聞かせのきっかけとなり、コミュニケーションのツールの一つとなっている。第一次の計画のなかでも非常に有効であるとし、拡大継続する。昨年までは、読み聞かせの依頼のあった園のみ訪問を、地域での格差をなくし、計画的に巡回するようにした（167回訪問）。乳幼児学級へ働きかけて読み聞かせなど、乳幼児期の読書活動をひろげた。学齢期では、図書配送便を活用し、市内23小中学校のリクエストに応じて19,554冊を配送した。</p> <p>読書活動推進では、図書館ボランティア「図書館サポーターえな」を中心に、各機関へ働きかけ、天の川イベント、朗読フェスティバル、クリスマス、お正月イベント企画実行、図書修理、みのりのみのり祭り参加、「マスコットキャラクター ぶんさんくんたん」を利用した「恵那市第三日曜日読書の日」など読書活動の啓発をした。また地域サービスとして地域コミュニティセンターへの配送本は6,340冊、遠隔地返却サービスは6,644冊、予約図書受取サービスは430冊の利用があった。</p> <p>巡回学校図書館司書については、3人を昨年までの拠点校を変え上矢作中・長島小・岩村小に配置し、全ての学校図書館の充実を図った。</p>	C

未達成の課題と今後の取組	<p>平成23年4月に宣言した生涯学習都市「三学のまち恵那」をより積極的に推進する体制を強化するため、生涯学習まちづくりセンターを拠点に市民大学恵那三学塾を開催する。また、第二次恵那市三学のまち推進計画の策定に取組み、「学んで生かす」市民活動の具現化を図る。</p> <p>地区コミュニティセンターのバリアフリー化を含めた改修など施設整備を進めるとともに、コミュニティセンターが生涯学習と地域振興の拠点になるよう体制の整備に取り組む。中央図書館では、児童サービス、地域サービス、郷土資料室充実の三つの重点事業を中心に、読書活動の推進を図る。</p> <p>また、地域の読書活動団体組織が未設置のところがあるため、学校、保育園への読み聞かせや、コミュニティセンター図書室の活動支援で差が出てきているので働きかけをしていく。</p>
--------------	--

### 3. 人を育み、人を生かす教育

家庭、学校、地域社会が一体となって、次代を担う青少年の健全育成や親と子の豊かな心を育む家庭教育、社会性や協調性を育む地域教育、人権教育などを進める。

サブ施策名	青少年の健全育成	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会活動支援事業</li> <li>・青少年育成市民会議事業</li> </ul>	C
取組と成果	<p>青少年育成市民会議と市PTA連合会が連携した子育て親育ちフォーラムや、少年の主張大会の開催、下校時の見守り放送、子ども会インリーダー研修の実施など青少年の健全育成に努めた。青少年健全育成強調月間啓発活動では、高校生と一緒に啓発活動を実施した。</p> <p>青少年育成市民会議と各町民会議では、季節ごとの各種事業を連携して実施し、延べ16,145人の参加者があった。</p> <p>恵那市子ども会指導者連絡協議会では、単位子ども会の活性化と交流を目的にドッジビー交流会を初めて開催し、7子ども会から46人の児童が参加した。</p>	

サブ施策名	家庭教育・地域教育の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育事業の推進</li> <li>・子ども教室推進事業</li> </ul>	C
取組と成果	<p>初めて親となる夫婦を対象とした「パパママ学級」を健康推進課と連携をとりながら年6回開催、第1子が生まれて1年が経過した両親を対象とした「ひよこパパママ学級」を年4回を開催し、出産後の子育てについて、子どもの成長過程や健康面、絵本の読み聞かせなどについて専門家の話を聞く学習機会とした。参加者からは夫婦で子育てについて共通理解をすることで子育てがしやすくなったなどの感想が寄せられた。</p> <p>就園前の乳幼児を持つ親を対象とした乳幼児学級を市内全地区のコミュニティセンターで開催し、子育てについての学習、仲間づくりの場とすることができた。</p> <p>家庭教育学級を開催する7中学校、14小学校、1小中学校、3幼稚園の各PTAを対象に補助金を交付し、各学級の主体的な活動の支援を行うことで家庭教育の推進を図った。</p> <p>第3次恵那市家庭教育支援計画「ステップ親子学びプラン」の策定を行い、新たに展開する施策・事業として、子ども若者への支援を盛り込んだ。</p> <p>子どもの体験交流、居場所づくりの場となる子ども教室は大井小、大井第二小、長島小、飯地コミュニティセンター、岩邑小、山岡小、串原コミュニティセンター、東野コミュニティセンターの8箇所で開催し、年間延べ81回の教室を開催し、1,919人の参加があった。また、新規事業としてコーディネーター養成講座を開催した。その受講者の中から新たに武並、三郷地区でも子ども教室開催の動きが出て、武並地区では第1回の実行委員会が開催できた。</p>	

サブ施策名	人権教育の充実	評価
主要事業	・人権尊重教育の推進	
取組と成果	<p>恵那市少年センターと連携して、少年センター指導員や市民を対象とした人権講演会を実施し、少年の人権に関連する講演会には約80人の参加者があった。人権尊重の意識をふまえた青少年の健全育成に関する手法を学ぶことができた。</p> <p>土田光子氏を講師に迎えて開催した人権・同和問題講演会では、「私を創ったもの～部落差別との出会い～」と題した、中学校教諭の経験を基にした人権教育の大切さを熱く語られる講演を通して、同和問題を考える契機とすることができた。</p>	C
未達成の課題と今後の取組	<p>恵那市放課後子どもプランの基本指針に基づき、子ども教室と学童保育の連携した事業展開に向けての協議を行う。また、子ども教室と学童保育の共通したテーマによる研修会なども開催しスタッフのスキルアップを目指す。</p> <p>子ども教室について、平成25年度は、各7教室の実行委員会等組織の充実と新規教室開設のための準備や市民大学講座における校区コーディネーターの育成に努め、新規の教室は東野地域で行っている夏休み中心とした育成活動を子ども教室に位置づけるに止めたが、平成26年度は、武並と三郷小学校区の開設準備が整ったので早期立ち上げと、市民大学講座による校区コーディネーターの発掘や育成、ケーブルテレビを活用し、広くPRしながら新しい地域での子ども教室新規開催を目指す。</p> <p>青少年育成市民会議とPTA連合会の共催による「子育て・親育ちフォーラム」を開催し、団体同士の連携や市民協働の推進に取り組み、親が積極的に学ぶ家庭教育に取り組む。</p> <p>平成25年に見直した第3次恵那市家庭教育支援計画「ステップ親子学びプラン」に沿ったパパママ学級、乳幼児学級、家庭教育学級等の施策の充実を図りながら、各事業を検証し見直しを図る。また、困難を有する子ども若者への支援についても、教育、福祉、雇用、保健などの各部局と連携し施策の構築に向けて情報収集等に取り組む。</p>	

#### 4. 文化・芸術活動の振興

市民が文化・芸術に触れられる機会を充実するとともに、文化関連施設の効率的な管理運営の検討を含めた施設の充実を進め、市民の文化・芸術活動の活発化を図る。

サブ施策名	文化・芸術活動の振興	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市文化振興会の育成支援</li> <li>・恵那文化劇場の充実</li> <li>・中山道広重美術館事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>恵那市文化振興会の運営を支援し、第56回恵那市文化祭をはじめ、7つの専門部がそれぞれ工夫を凝らした文化活動とその成果発表を行った。</p> <p>恵那文化センターと明智かえでホールでは合わせて4本の自主事業を実施し、入場者数は3,527人であった。</p> <p>中山道広重美術館では、特別企画展を4回、企画展を5回開催した。秋の特別企画展では富士山をはじめとした風景画を中心に作品展示を行い、合わせて公開講演会等イベントを実施した。郷土ゆかりの作家関連の展示では、岩村町出身の「原田芳洲」を取り上げ、郷土の肖像画家の多彩な画歴を紹介した。毎月第1日曜日は市民の観覧料を無料とする「市民の日」を継続実施し、市民に開かれた美術館を目指した。</p>	C

サブ施策名	文化・芸術施設の整備	評価
主要事業	・文化・芸術施設の効率的な運営	C
取組と成果	恵那文化会館と明智かえでホールの2施設については、引き続き自主事業の企画運営と舞台管理業務を一元管理し、事務の合理化に努めた。	
サブ施策名	文化・芸術の育成・PR	評価
主要事業	・恵那市伝統芸能大会事業 ・恵那市文化祭開催事業	C
取組と成果	第24回恵那市伝統芸能大会は、総勢250人の出演者と、延べ930人の来場者を迎え、市内各地域の伝統芸能の披露、食文化の展示、特別ゲストによる浪曲の披露などにより、伝統芸能を広く紹介する機会となった。 第56回恵那市文化祭を9月からの約3ヵ月間、12種目にわたって開催、5,323人の参加者があった。	
未達成の課題と今後の取組	市民がより質の高い文化にふれる機会を増やし、教養を高めることを目標に、市の文化振興指針を定め、課題の整理、課題解決のための行動計画、施策の検討等、文化振興基本計画の策定に向けた準備を行う。 (公財)市文化振興会は、文化振興指針の目標の達成に必要な機能を果たす中心的な機関として、その組織体制、運営方法の見直しを行う。 (公財)中山道広重美術館は、市の芸術文化的環境を高めることができるよう管理運営を最適化するため、平成27年度から指定管理制度を導入する。	

## 5. 文化財の保護

古くから郷土に受け継がれている文化財や伝統芸能に対する理解を深め、大切に保存・育成し、後世に伝承していく。また、学習資料・観光資源としてのPRと活用に努める。

サブ施策名	文化財の調査研究・評価	評価
主要事業	・郷土に輝く先人顕彰事業 ・文化財の調査・保存・活用 ・埋蔵文化財保護の標準化	C
取組と成果	先人顕彰のため、第11回下田歌子賞を実行委員会を組織して実施。「ふるさと」をテーマにエッセイと短歌を募集。全国からエッセイ756件、短歌は1,452首の応募があった。 指定文化財の標柱の設置を行ない、その保護と活用に努めた。 市シルバー人材センターに委託し、主として岩村町内の市有文化財の巡視と修理を行った。秋祭り行事保存会、文化財保護協会に補助金を交付し、伝統的な行事の実施を支援した。 県史跡大井宿本陣跡、県指定天然記念物団子スギの保存修理事業を県補助金を受けて実施した。 市指定文化財加納家の修理事業について、麓和善名古屋工業大学教授等の修理委員会の現地指導を得て保存修理工事を完了した。 県の事業である近代和風建築総合調査に協力し該当家屋のリストを作成した。 文化庁の補助を受け、市内の詳細遺跡分布調査(岩村町・上矢作町)と中世石塔実測調査を行った。	

サブ施策名	文化財の保存・活用	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 笠置ヒトツバタゴ自生地保存整備事業</li> <li>・ 岩村城下まちなみ保存事業</li> <li>・ 重要文化的景観保護推進事業</li> <li>・ 上矢作松並木保護整備事業</li> <li>・ 正家廃寺跡保存整備事業</li> <li>・ 中山道保存修景整備事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>県天然記念物大船神社参道の松並木は、松くい虫防除液剤の注入を県補助事業で実施した。</p> <p>国選定の貴重な文化財である岩村町本通り伝統的建造物群保存地区は、適切な保存事業を実施し、視察・研修受け入れなどを通して歴史学習の場、観光地としても有効活用を行った。</p> <p>地区内の町屋活用施設（木村邸・土佐屋・勝川家・美術の館・石橋家）は指定管理者制度により、適切な維持管理、活用を行った。</p> <p>修理修景事業は地区内の伝統的建造物の工事(国庫修理3)に補助を行った。</p> <p>市指定文化財木村邸主屋の修理を行った。</p> <p>正家廃寺跡の草刈り等を行い、貴重な文化財の適切な維持管理を行った。</p> <p>地元有志による「正家寺平歴史の里整備構想検討委員会」、「正家廃寺保存会」の活動を支援した。</p> <p>文化庁の国庫補助事業として史跡指定地の公有化を進め、1筆2538.32㎡を取得した。</p> <p>正家廃寺南側の発掘調査を実施した。</p> <p>西行塚から瑞浪市境までの中山道沿線の草刈りを実施するとともに、沿線の利便施設（甚平坂公園、西行硯水公園、四谷集会所、西行苑、深萱便所）の維持管理を市シルバー人材センター、市森林組合及び地元に委託して実施し、史跡の適切な維持管理を行うとともに、探訪者の利便を図った。</p> <p>長島町中野新田地区～武並町藤瑞浪市境の中山道の国史跡指定に向け、姫御殿跡の用地境界について建設課及び竹折生産森林組合と調整した。</p> <p>中山道沿線で活動する保存会に補助金を交付し、市民による保存活動を支援した。</p>	C
サブ施策名	伝統文化の伝承	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化伝承教室の実施</li> <li>・ 恵那市伝統芸能大会事業（再掲）</li> <li>・ 恵那市文化振興会の育成支援（再掲）</li> </ul>	
取組と成果	<p>地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業を活用し、4団体が実施する伝統文化子ども教室に対して指導、助言を行った。</p> <p>岐阜県獅子芝居協議会事務局として、11月24日（日）上矢作町獅子芝居公演を開催した。</p> <p>第21回飛騨・美濃歌舞伎大会えな2013を9月29日（日）に恵那文化センターで開催した。</p> <p>恵那市文化振興会による地域文化の伝承と、伝統保存文化を伝承する活動に対する支援の実施。また第24回恵那市伝統芸能大会の実施により、各保存活動団体による発表の機会を提供し保存伝承活動に努めた。</p> <p>公益財団法人として公益認定基準に適合した法人運営を推進し、定款に定めた公益事業の適切な事業展開を進めるため、継続して市職員を派遣して恵那市文化振興会の運営を支援した。</p>	C

未達成の課題と今後の取組	<p>正家廃寺跡は、保存管理計画に基づいて、引き続き発掘調査や整備構想の検討を進める。岩村城跡は、石垣の保存のため、引き続き支障木の伐採を行うとともに、眺望を確保する方法を検討する。</p> <p>中山道は、大井宿の歴史的建造物の調査、保存、活用を検討し、歴史的風致維持向上計画に基づいた事業を推進する。中山道ひし屋資料館では、自主企画展やイベントを実施するほか、市民による利活用の促進を図る。</p> <p>岩村町の伝統的建造物群保存地区では、引き続き保存修理を計画的に進めるとともに、地区の保存会の運営を支援する。</p> <p>岩村歴史資料館等市内の資料館の所蔵品の整理を進め、展示のリニューアルや地域における保存活用の促進、今後の統廃合などの検討を進める。</p>
--------------	--

## 6. スポーツ活動の振興

市民一人一人が、それぞれのライフスタイルに応じて、日常生活の中で主体的にスポーツに親しみ、明るく健康で活力のある生涯を送るために、地域コミュニティにおける生涯スポーツを推進する。また、スポーツを通じて個人やチームの連帯感を高め、自己実現を果たすことができる競技スポーツを推進するとともに、スポーツに取り組むことができる施設環境を整備する。加えて、スポーツイベントを開催し、市内外のスポーツ交流を促進する。

サブ施策名	地域スポーツの推進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体育の日」開催事業</li> <li>・地域スポーツ推進委員設置事業</li> <li>・地域スポーツ組織（総合型クラブ含む）支援事業</li> <li>・野外活動推進事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>24年度は国体と重なり開催できなかった体育の日事業「レクスポえなフェスティバル」と、親子で行う自然体験活動などの野外活動推進事業を1年ぶりに行い、スポーツへの参加機会、交流に務めた。</p> <p>生涯スポーツのコーディネーターとして、スポーツ推進委員22名を委嘱し、研修会の開催等生涯スポーツ意識の醸成に努めた。また、地域スポーツ推進委員の設置により各地域を舞台としたスポーツ行事の推進を図った。</p> <p>子どもから高齢者まで生涯を通じてスポーツに親しめる場合は、生活に最も身近な地域であることから、地域のスポーツ組織の支援を行なった。支援の内容は、総合型地域スポーツクラブ（5クラブ）、スポーツネット岩村、13地区の体育協会に対して、運営補助金の交付、各種イベント開催時の調整等。総合型スポーツクラブの事業参加者数は、46,650人であった。</p>	C
サブ施策名	スポーツをする機会の増大	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツポイント実施事業</li> <li>・スポーツ教室開催事業</li> <li>・恵那市体育連盟支援事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>ぎふ清流国体の開催を契機に選定された「スポーツキャラクター（ハナツキー、サリーナ）」を活用し、スポーツを身近なものとして親しみを持っていただくとともに地域アイデンティティの形成に努めた。また国体を契機に開始した「スポーツポイント事業」を継続実施しスポーツイベントへの参加者数の増大に努めた。</p> <p>スポーツをするきっかけ作りとしてのスポーツ教室を全20教室開催し、延べ3,232人の方に受講して頂いた。</p> <p>競技スポーツを推進・強化するために、（一財）恵那市体育連盟に加入する競技団体に対して運営助成金の交付等の支援を行った。</p> <p>また、競技スポーツの推進に向けて指導者養成講習会を開催し、新たに6名受講育成し計121名の指導者となった。</p>	C

サブ施策名	スポーツをする場の提供	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B &amp; G海洋センター改修事業</li> <li>・ まきがね公園体育館改修事業</li> <li>・ 学校施設の地域開放事業</li> <li>・ 県営スケート場の管理運営</li> <li>・ 社会体育施設（指定管理外）修繕事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>生涯スポーツ・健康スポーツを推進する地域の拠点として学校開放施設の提供を行ない、延べ207,279人の方の活用に供用した。</p> <p>また、地域拠点施設（学校開放施設）を補完し、多種目、多機能に対応したスポーツ施設（広域スポーツ施設）を提供し、188,658人の利用者に対し安全・安心な施設サービスを提供した。</p> <p>岐阜県からクリスタルパーク恵那スケート場の指定管理をうけ、恵那市の伝統スポーツであるスケートの「場の提供」を行うと共に、三笠の宮賜杯中部日本スケート競技会等各種競技会の開催や、東濃地域の小中学校への無料入場券の配布により61,638人の利用者を迎え、スケートの普及振興に努めた。</p> <p>まきがね公園スポーツ施設、山岡・明智B&amp;G施設、上矢作プール、弓道場等13施設の指定管理を行い管理の効率化や専門化への対応を行った。</p>	C
サブ施策名	スポーツ交流の促進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵那峡ハーフマラソン開催事業</li> <li>・ 日本大正村クロスカントリー開催事業</li> <li>・ 市民体育大会開催事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>第12回恵那峡ハーフマラソン大会を開催し、3,471人の参加があり、昨年度の参加者2,683人を788人上回った。開催当日は、市民手作りの「トン汁」「お汁粉」「おにぎり」等のおもてなしに選手から感謝の声が多く寄せられた。</p> <p>第30回大正村クロスカントリーを開催し1,925人の参加があり、昨年度の参加者1,615人を310名上回った。開催当日は、スポーツドリンクのサービス、抽選会等参加選手に好評を得た。</p> <p>市民体育大会等の大会を開催し、24種目2,314人の参加を有した。</p>	C
未達成の課題と今後の取組	<p>山間部の少子高齢化や過疎化の進展、都市部での人間関係の希薄化等の要因から、地域コミュニティーの衰退が懸念されている。それに伴い、地区体育協会の衰退や総合型スポーツクラブの会員数の減少等により地域におけるスポーツの機会が減少している。</p> <p>生涯を通じて健康で暮らし、イキイキとした地域を創り出すためには、地域コミュニティーを基盤とするスポーツ推進組織を育成強化することが急務であるとともに、世代それぞれの課題に対応したスポーツ施策の推進が必要であり、乳幼児、児童・生徒、成年等それぞれに応じ、教育関係者等との連携や高齢者を対象とした「エイジレス」等のスポーツ推進の枠組みの形成が必要であると思われる。そのために、早急に三つの取り組みが求められている。</p> <p>一つ目は、市民のニーズをとらえた「スポーツ推進計画」の策定である。上記課題の解決を多様な主体の参画に基づいて計画的に推進する枠組みの創出である。</p> <p>二つ目は、スポーツ推進計画に打ち出された施策を専門の視点、競技者の視点、地域の視点、障害者の視点、高齢者の視点、地域活性化の視点等で検証（計画内容、実施方法、対応方針の検証）する組織の設置運営。</p> <p>三つ目は、スポーツ推進を総合的・包括的に委託している（一財）恵那市体育連盟の位置づけと役割の検証である。ガバナンス的な取組みが期待される。さらに、スポーツを推進する（新しい公共における）多様な主体の一つであることの認識と、設立の経緯から強い公共性を有する団体であることから果たすべく（公共の）事業プログラムの明確化とそのPDCAの枠組みの設置が急務である。</p>	

## 【教育行政評価委員会からの意見】

### 1. 教育委員会の行う事務事業の執行状況について

#### 【総評】

子ども達の学校生活を安心なものとする器づくりについては、子ども優先に考えるという教育委員会の姿勢がうかがえる。このことは、子どもの学力向上を目指すための教育活動にもよく表れている。教育委員会が足繁く学校に通い子どもの実状を自分の目で見て直接教員に指導したり、役割ごとの教員を対象に指導したりして、教育指導の中核である教員の質の向上を図る努力からもわかる。

学力、読書、集団性（社会性）の向上を図るために重点的に指導強化の意図もよくわかる。子どもの視点から教育の基盤として大切な身体（健康）についても今後、充実を図ってほしい。スポーツ活動により体力も向上していきと言われているので学校体育、ジュニアスポーツ、スポーツ少年団活動の充実についても検討してほしい。また、健康に関しては、給食について協議が進められているが、本当に学校給食だけで一人一人に応じた対応ができるのか、アレルギー給食を取り入れることでのメリットだけではなくデメリットもしっかり検討していただきたい。

市民の文化生活の向上を図る「三学」の充実を図っておられるが、教育委員会としても積極的に関与して、乳幼児から高齢者まで一貫した指導を進めてほしい。「三学」に対しても一部しか参加できない。スポーツ活動も同様であるため、その要因の調査研究してほしい。平成26年度から生涯学習の推進、文化財の保護、スポーツ活動の振興等は、市長部局のまちづくり推進部に替わったが今までと同じように連携して進めてほしい。

就学前教育については、学校教育に携わるもの、保護者としては重要な関心事である。恵那市内の全幼児が同じような就学児教育が受けられる「こども園」の先取りは素晴らしいことであると考えます。積極的に進めてほしい。保護者、教員の資質向上も含めて充実を図ってほしい。

恵那市教育委員会は、子どもの教育向上、市民の文化の向上を図る施策について、今まで以上に充実を図るよう努めていただきたい。

#### (1) 恵那市総合計画施策について

- ・知識、技能の基礎学力の向上について、学力テストの結果を活かし、各学校単位での重点指導を図られたこと。その指導の中心を教務主任に位置づけたこと、結果について評価するなど（計画、実践、評価のサイクル）に明確にして実施されていることは、学校の先生方の意識向上につながり、子どもにとってありがたい指導である。
- ・社会性、協調性を高めないと学力向上に結びつかない。

- ・年々子どもが減少していることは実感している。学校再編の検討の時期がきているように感じている。
- ・中学生のうちに、確かな学力が身につく専門性ある授業ができる環境や、多様な価値観を持つ仲間との人間関係づくり、仲間と切磋琢磨して向上しあえる環境などの社会性を身につける事ができる環境を整えるためにも学校の統合は考えて行く必要がある。
- ・プール建設、耐震、学校大規模改修は、厳しい財政の中、よくやっていただいております、良い教育環境となっていると感じている。
- ・施設改修について、子どもの安全確保、授業優先という学校教育の充実を第一に考えた改修計画が綿密に立てられている。特に改修にあたっての問題点を洗い出し、解決の手立てを明確にし、確実に完成されていることは素晴らしいことである。
- ・学校給食では、食は子どもの安心安全であり、こだわりを持って地産地消も忘れずに行ってほしい。
- ・新たに開講された市民大学講座や図書館読書活動は、読書環境の整備など積極的に取り組まれてよかった。
- ・図書館活動は盛んにやっていただいている。学校と図書館と通い合っていると感じる。コミュニティセンター図書室の支援と連携は、コミュニティセンターがパイプ役になって地域で子どもを育てる。子どもから高齢者まで知り合いになれる場をつくるのが大切である。
- ・読み聞かせは、保護者への研修をしてほしい。父親の読み聞かせのできるような環境をつくっていただけるといいと思う。
- ・家庭教育支援について、今一番必要なことは、家庭教育の充実であり、親の教育について積極的に指導を進めてほしい。
- ・家庭教育の充実のために市PTA連合会、各学校のPTAへの支援を積極的に行ってほしい。また、市PTA連合会と市子ども会指導者連絡協議会との連携を図るよう積極的な働きかけをして、活性化できるよう工夫してほしい。
- ・文化施設の効率的な運営では、知名度の高い人を呼ぶことによって市民の意識も高まるのではないかと思う。
- ・中山道広重美術館事業について、子どもの優れた版画作品を美術館や町中に飾られる事は恵那市の特色になっている。今後、版画教育をどのように発展させていくのか課題になる。
- ・文化財の保護については、岩村重要伝統的建造物群など恵那市は文化伝統を大切にしている。将来の世界遺産になるくらいの目標を持って着実に進めていただきたいと思う。
- ・スケート競技で大きな大会を開催することによって競技者が出て来たことは大き

いと思う。これを基盤に恵那市からオリンピック選手を輩出できるように努めていただきたい。それによって他の競技も充実するような指導を進めてスポーツの振興に努めていただきたい。

(2) 教育委員会主要事業について

- ・学校の施設整備に関して、早め早めの対応が子ども達の過ごしやすい環境になっていると感じた。
- ・民間への給食委託する時こそ恵那市のスタイル、制度設計を明確にすることが大切である。プロポーザルで委託していく作業なら時間が解決するが、ソフト面こそ明確にすべきである。
- ・吉田小学校の跡地を有効に活用してほしい。
- ・学校統合については、明智小学校、吉田小学校の統合のように、恵那南地区中学校統合についても着実に進めていただきたい。統合での問題点や良かった点を明確にして検討に活かしてほしい。
- ・吉田小学校、明智小学校の統合では、思い出を語る会の開催など廃校側の立場になって、思い出を大切にされているのはありがたいことだと思う。
- ・教職員の資質向上について、学校教育の充実は、教職員の資質向上を図るしかない。資質向上をしたい意欲のある教員を育ててほしい。教育委員会の指導については、目標、指導内容について明確であり着実に実施しておられる。
- ・若い人は非常に集団性が弱いため、若い教員は学校での集団組織、子ども達は仲間作りなど、子どもも教員も育ててほしい。
- ・こども園については、就学前教育の充実を図ることの大切さ、そのため園長会の役割分担をはっきりさせたこと。主任会の立ち上げをされたことなど、園の組織化されたことは良いことである。
- ・道徳の授業については、児童、生徒が働いて行く上で何が必要かということを見つめるための道徳教育であってほしいと思う。
- ・小学生に、将来に向けて職業の選択や沢山の可能性があると思わせるような道徳教育をしていただきたいと思う。
- ・読書活動の推進では、保護者へ読み聞かせの研修をしてほしい。父親の読み聞かせのできるような環境をつくっていただけるといいと思う。
- ・サンホールくしはらは、地元にとって大事な場所であるため有効的な活用をしていただきたい。
- ・スケート場の効果的運営について、具体的な方向性、方法が明確であり、成果を期待したい。その他のスポーツ種目についても指導計画などスケート競技の計画のように具体化してほしい。

## 参 考 資 料

- ◆ 惠那市教育委員会点検評価実施要領
- ◆ 惠那市教育委員会組織図
- ◆ 平成25年度惠那市教育委員会提出議案等

## 恵那市教育委員会点検評価実施要領

平成 21 年 7 月 24 日恵那市教育委員会告示第 14 号

(目的)

第 1 条 この要領は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号。以下「法」という。）第 27 条第 1 項に規定する点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(評価事項)

第 2 条 教育委員会は、前年度の次の各号に掲げる教育委員会の取組みについて点検及び評価を実施する。

(1) 教育委員会の活動状況に関する事項

ア 教育委員会の会議の実施状況

イ 教育委員会の調査活動の状況

(2) 事務事業の執行状況に関する事項

ア 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行状況

イ 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行による成果

(3) その他教育委員会が必要と認める事項

(点検評価の手順)

第 3 条 教育長は、前年度における前条第 1 号及び第 3 号に掲げる事項について、教育委員会会議等の点検及び評価（様式第 1 号）により、点検及び評価を行うものとする。

2 前年度における前条第 2 号に掲げる事項についての点検及び評価は、市が実施する総合計画管理チェックシートにより行うものとする。

3 教育長は、第 1 項及び第 2 項の結果を教育委員会に報告する。

4 教育委員会は、前項の報告を基準として、点検及び評価を実施する。

(評価委員会の設置)

第 4 条 教育委員会は、法第 27 条第 2 項の規定により、同条第 1 項の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、恵那市教育行政評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第 5 条 委員会は、教育委員会の求めに応じ、第 3 条の点検及び評価を行うに当たり、意見を述べるものとする。

(委員)

第6条 委員会は、5人以内の委員で組織し、委員会の委員は、優れた識見を有する者その他教育委員会が適当と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 委員の任期は2年とし、再任されることができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第7条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指定した委員がその職務を代理する。

(公表)

第8条 教育委員会は、法第27条第1項に規定する点検及び評価の結果に関する公表について、ホームページにより行うものとする。

(委任)

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

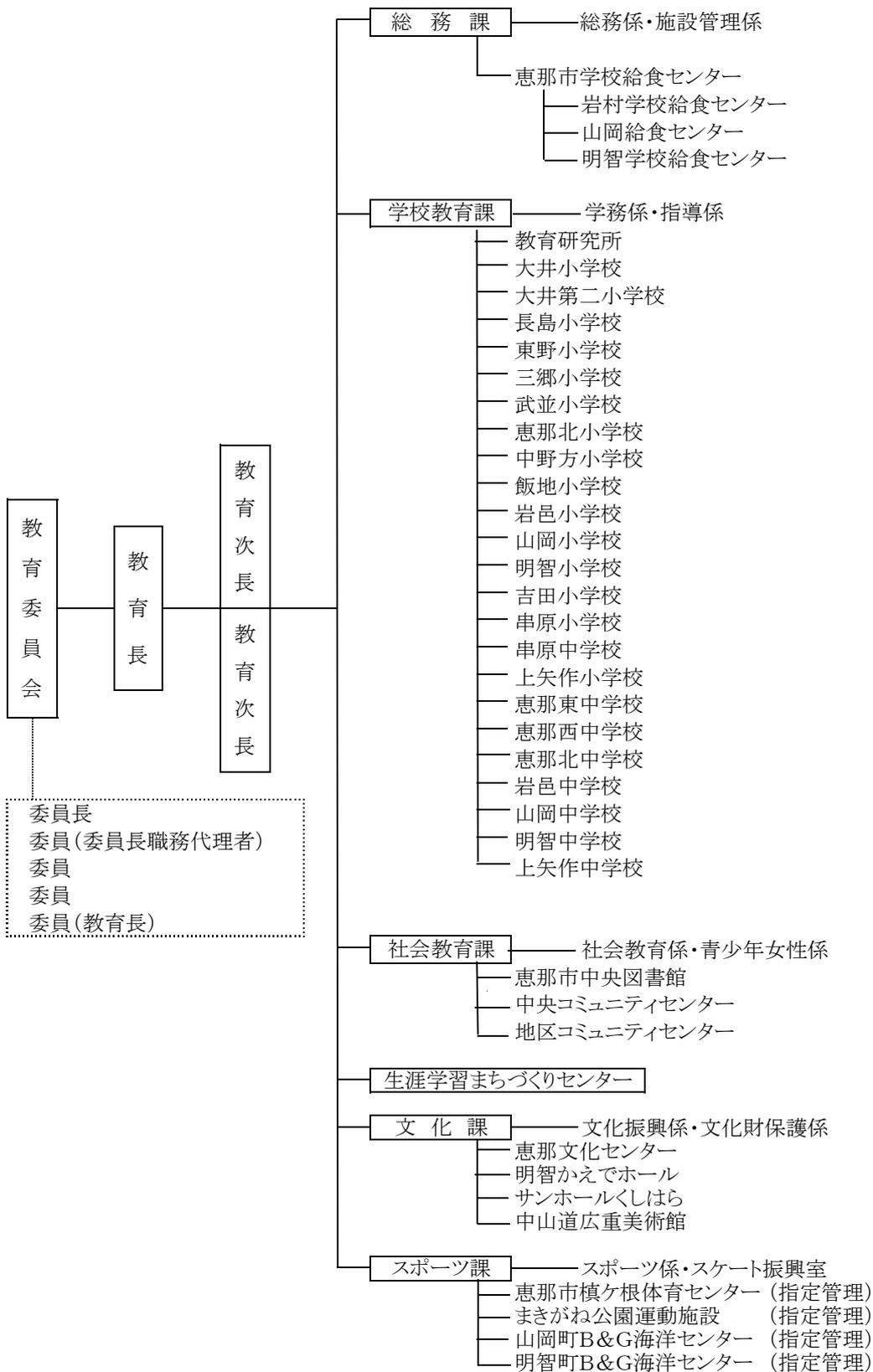
この告示は、告示の日から施行する。

様式第1号（第3条関係）

教育委員会会議等の点検及び評価

	実 績	成 果 ・ 課 題
教育委員会会議の実施状況		
調査活動等の状況		
その他の事項		

# 恵那市教育委員会の組織図



平成25年度恵那市教育委員会提出議案等について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案等
第5回定例会	平成25年4月26日	報告事項	報第1号 平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校のトピック(5月)について 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 5月の行事予定について
第6回臨時会	平成25年5月8日	協議事項	協第4号 「吉田小学校と明智小学校の統合について」(具申)の処理結果について
第7回定例会	平成25年5月28日	議第5号	恵那市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
		議第6号	吉田小学校と明智小学校統合実行委員会設置要綱の制定について
		議第7号	恵那市子どもの読書活動推進策定委員会設置要綱の制定について
		議第8号	平成25年度岐阜県教科用図書東濃地区採択協議会の設置について
		議第9号	恵那市教育委員会会議等点検及び評価(平成24年度)
		報告事項	報第1号 教育行政評価委員の委嘱について 報第2号 平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第3号 恵那市の小中学校(6月)のトピックについて 報第4号 平成25年度自治会青少年育成推進員研修会について 報第5号 平成25年度恵那市青少年育成市民会議総会及び第9回少年の主張大会開催について 報第6号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第7号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第8号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第9号 6月の行事予定について 報第10号 教育委員会訪問(5.6.7月)について 報第11号 中体連激励訪問について 報第12号 「総務文教委員と教育委員と語る会」について
第8回定例会	平成25年6月28日	議第10号	吉田小学校と明智小学校統合実行委員会設置要綱の一部改正について
		議第11号	平成24年度恵那市教育委員会主要事業、恵那市総合計画策定別点検及び評価
		議第12号	恵那市図書館協議会委員の委嘱について
		報告事項	報第1号 平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(7月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 7月の行事予定について 報第7号 平成25年度体育大会・体育祭・運動会の訪問について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案等
第9回定例会	平成25年7月26日	議第13号	恵那市学校設置条例の一部を改正する条例について
		議第14号	平成26年度使用教科用図書議決について
		議第15号	恵那市市民会館条例の一部を改正する条例について
		議第16号	平成25年度9月補正予算(案)に関する意見について
		報告事項	報第1号 平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(8月)のトピックについて 報第3号 「三学のまち恵那」生涯学習フォーラム2013について 報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第7号 8月の行事予定について 報第8号 平成25年度体育大会・体育祭・運動会の訪問について 報第9号 平成25年度恵那市教育委員会訪問(後期)について 報第10号 教育委員会視察研修について
第10回定例会	平成25年8月27日	報告事項	報第1号 平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(9月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 9月の行事予定について 報第7号 平成25年度教育委員会点検・評価報告書 報第8号 恵那市役所庁舎新館建設事業の状況 報第9号 平成25年度恵那市教育委員会訪問(後期)について 報第10号 教育委員会視察研修について
第11回定例会	平成25年9月24日	議案第17号	岐阜聖徳学園大学と恵那市教育委員会との連携協力に関する協定書の締結について
		報告事項	報第1号 平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(10月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 10月の行事予定について 報第7号 平成25年度恵那市教育委員会訪問(後期)について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案等	
第12回定例会	平成25年10月25日	議案第18号	恵那市スポーツ推進審議会条例の制定について	
		議案第19号	恵那市青少年問題協議会条例の一部を改正する条例について	
		議案第20号	恵那市岩村町本通り伝統的建造物群保存地区町屋活用施設条例の一部を改正する条例について	
		議案第21号	恵那市学校設置条例の一部を改正する条例について	
		議案第22号	恵那市公民館条例の一部を改正する条例について	
		議案第23号	恵那市市民会館条例の一部を改正する条例について	
		議案第24号	恵那市大正村明智の森キャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	
		議案第25号	恵那文化センター条例の一部を改正する条例について	
		議案第26号	恵那市中山道広重美術館条例の一部を改正する条例について	
		議案第27号	恵那市中山道ひし屋資料館条例の一部を改正する条例について	
		議案第28号	恵那市明智かえでホール条例の一部を改正する条例について	
		議案第29号	恵那市串原山村文化資源保存伝習施設条例の一部を改正する条例について	
		議案第30号	恵那市串原郷土館条例の一部を改正する条例について	
		議案第31号	恵那市指定文化財旧三宅家条例の一部を改正する条例について	
議案第32号	恵那市スポーツ施設条例の一部を改正する条例について			
議案第33号	平成25年度12月補正予算(案)に対する意見について			
報告事項	報告第1号	岐阜聖徳学園大学と恵那市教育委員会との連携協力に関する協定書について		
		報告第2号	平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について	
		報告第3号	恵那市の小中学校(11月)のトピックについて	
		報告第4号	恵那市中央図書館月別利用状況について	
		報告第5号	中山道広重美術館月別観覧者数について	
		報告第6号	岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について	
		報告第7号	11月の行事予定について	
		報告第8号	教育委員会視察研修について	
第13回定例会	平成25年11月22日	報告事項	報告第1号	職員の処分について
		報告第2号	平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について	
		報告第3号	恵那市の小中学校(12月)のトピックについて	
		報告第4号	恵那市中央図書館月別利用状況について	
		報告第5号	中山道広重美術館月別観覧者数について	
		報告第6号	岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について	
		報告第7号	12月の行事予定について	
		報告第8号	平成25年度市教委懇談会・中間まとめの会の日程について	
		報告第9号	教育委員会視察研修について	
第14回臨時会	平成25年12月16日	報告事項	報告第1号	職員の処分について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案等
第15回定例会	平成25年12月25日	議第34号	恵那市教育委員会文書管理規則の制定について
		議第35号	恵那市学校給食の実施に関する規則の一部を改正する規則について
		報告事項	報第1号 平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(1月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館勤務職員の就業に関する内規について 報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第7号 1月の行事予定について 報第8号 平成26年恵那市成人式の出席依頼について 報第9号 平成25年度市教委懇談会・中間まとめの会について 報第10号 平成25年度恵那市立小・中学校卒業証書授与式について
第1回定例会	平成26年1月23日	議第1号	岩村藩鉄砲鍛冶加納家指定管理者の指定について
		議第2号	恵那市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
		議第3号	恵那市スポーツ施設条例の一部を改正する条例について
		議第4号	恵那市社会教育委員条例の一部を改正する条例について
		協議事項	協第1号 平成26年度「恵那市の教育」について 協第2号 恵那市スポーツ推進計画(案)の策定について(諮問)
		報告事項	報第1号 平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(2月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 2月の行事予定について
第2回定例会	平成26年2月26日	議第5号	平成25年度3月補正予算(案)について
		議第6号	平成26年度恵那市予算(案)について
		議第7号	恵那市行政組織の再編について
		協議事項	協第3号 平成26年度「恵那市の教育」について
		報告事項	報第1号 平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(3月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 3月の行事予定について 報第7号 恵那市制10周年記念式典について 報第8号 平成25年度恵那市立小・中学校卒業証書授与式について
第3回臨時会	平成26年3月6日	議第8号	平成26年度教職員の人事について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案等	
第4回定例会	平成26年3月28日	議第9号	恵那市教育委員会事務局組織規則の一部改正について	
		議第10号	恵那市教育委員会文書管理規則の一部改正について	
		議第11号	恵那市教育委員会規則等の一部改正について	
		議第12号	恵那市教職員住宅管理規則の一部改正について	
		議第13号	恵那市学校の通学区域に関する規則の一部改正について	
		議第14号	恵那市学校給食センター設置条例施行規則の一部改正について	
		議第15号	明智町立小中学校児童生徒通学費補助金交付規則の廃止	
		議第16号	恵那市児童等適応指導教室設置規則の一部改正について	
		議第17号	恵那市障害児就学指導委員会規則の一部改正について	
		議第18号	恵那市少年センター設置要綱の制定について	
		議第19号	恵那市市民三学地域委員会設置要綱の一部改正について	
		議第20号	恵那文化センター使用料規則の一部改正について	
		議第21号	恵那市明智かえでホール管理規則の一部改正について	
		議第22号	恵那市串原山村文化資源保存伝習施設管理規則の一部改正について	
		議第23号	恵那市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱の制定について	
		議第24号	恵那市岩村町本通り伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について	
		議第25号	恵那市いじめ防止基本方針(案)	
		議第26号	第3期恵那市家庭教育支援計画(案)	
		協議事項	協第4号	第二次恵那市子どもの読書活動推進計画(案)
		報告事項	報第1号	平成25年度教育委員会主要事業の進捗状況について
			報第2号	恵那市の小中学校(4月)のトピックについて
			報第3号	地区コミュニティセンター及び市民会館への指定管理者制度導入について
			報第4号	恵那市中央図書館月別利用状況について
			報第5号	中山道広重美術館月別観覧者数について
			報第6号	岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について
			報第7号	4月の行事予定について
	報第8号	平成26年度恵那市教職員受入式について		
	報第9号	平成26年度教育委員会開催日について		

平成26年度（平成25年度対象） 教育委員会点検・評価報告書

発行 恵那市教育委員会

〒509-7492 恵那市岩村町545-1

電話：(0573) 43-2112（内線）313

FAX：(0573) 43-4137